



だざいふ  
景観

# 市民遺産

## フェスタ 2019

平成31年3月10日(日)

会場 太宰府館

主催 太宰府市景観・市民遺産会議、  
太宰府市、太宰府市教育委員会



### もくじ

プログラム	1
新認定市民遺産「梅香苑夏まつり子どもみこし」	2
これまでに認定された市民遺産	2
市民遺産ってななに?	3
「かるかやのせき 石童丸ものがたり」	3
古代官人の衣装の色と万葉の花	4
太宰府をうたう♪	5・6
「水城村の地勢～度量衡の歌」「時の記念日の歌」	6

## 午前の部

【歩く】9:00～12:30

### A) 四王寺山の太宰府町道を歩く

案内：四王寺山勉強会

コース：太宰府小学校～太宰府町道～三十三観音札所（5・2～4番札所）～水瓶山～原山本堂跡



### B) 景観・市民遺産めぐり

案内：NPO 法人歩かんね太宰府

コース：都府楼前駅～苺萱の関跡～榎社～限磨公のお墓～「遠の朝廷」万葉歌碑～大宰府政庁跡～吐月叢～戒壇院・観世音寺～五条公民館～さいふまいの道～天満宮参道～朝堂作神牛像

【体験】10:30～12:30

場所：太宰府館2階

### ○万葉花かるた

講師：大宰府万葉会

会場：和室

### ○自然とあそんで景観づくり

講師：ゆずるはの会・月山の会

会場：体験工房1

### ○木うそ絵付け体験

講師：太宰府木うそ保存会

会場：体験工房2・3



## 午後の部

時間 13:30～16:30 終了予定 会場 まほろばホール 手話通訳協力 太宰府手話の会

(ステージプログラムの時間は、進行状況によって多少前後する場合があります。)

13:30 開会あいさつ

13:35 第5回だざいふ景観賞表彰式

(休憩)

14:10 景観・市民遺産会議 議長あいさつ

14:20 新認定太宰府市民遺産の紹介と認定書授与式

14:35 「市民遺産ってなあに？」

14:50 紙芝居「かるかやのせき 石童丸ものがたり」

—市民遺産第9号「苺萱の関跡とかるかや物語」育成団体：かるかや物語を伝える会

15:05 ミニ講演「市民遺産の未来」

—北海道大学 観光学高等研究センター センター長：西山徳明さん

(休憩)

15:40 「古代官人の衣装の色と万葉の花」

—市民遺産第5号「万葉集つくし歌壇」育成団体：大宰府万葉会

15:55 育成活動報告「太宰府をうたう♪全11曲」

—市民遺産第14号 育成団体：岩崎記代子と「赤い鳥」と「夢みらい」

16:15 合唱「水城村の地勢」と「時の記念日の歌」

—市民遺産第6号「太宰府における時の記念日の行事」育成団体：辰山会

16:30 閉会あいさつ



第5回だざいふ景観賞大賞  
宝満宮竈門神社本殿・社務所

お帰りの際は、アンケートにご協力をお願いいたします。

市民遺産第 14 号 梅香苑夏まつり子どもみこし

育成団体 梅香苑区自治会



市の東部に位置する梅香苑は、昭和 50 年代前半頃に新しくできた住宅地です。この子どもみこしは、梅香苑で生まれ育った子どもたちに故郷の思い出を残してやりたいという思いで、今から 40 年近く前に始められました。

毎年 8 月第 1 土曜日に、地域の人たちの手作りのみこしを中心に、鐘、太鼓、大うちわなどをを持った子どもたちが、沿道の家々からの力水を浴びながら、元気よく区内を練り歩きます。



昨年 9 月 19 日に開催した景観・市民遺産会議において、梅香苑区自治会が提案をし、「梅香苑夏まつり子どもみこし」が、太宰府市民遺産第 14 号に認定されました。



認定会議のようす

これまでに認定された市民遺産



太宰府の木うそ



八朔の千燈明



かつてあった道  
四王寺山の太宰府町道



芸術家 富永朝堂



万葉集つくし歌壇



太宰府における  
時の記念日の行事



隈麿公のお墓



太宰府の絵師萱島家



太宰府の梅上げ行事



高雄の自然と歴史



太宰府悠久の丘



太宰府をうたう♪全 11 曲



梅香苑夏まつり子どもみこし

ホワイエにてパネル展示  
をしています。  
ぜひご覧ください。

## 市民遺産ってなあに？



わたしたちの身のまわりには気をつけて見てみると、さまざまな文化遺産があります。

でも、その文化遺産はいつまでもそこにあるとは限りません。文化遺産は誰かが関わらないとやがてなくなってしまいます。

もし、「未来の太宰府に伝えたいな」と思う文化遺産とその物語があるのならば、仲間と共に守り育てる活動をしませんか。

それが、市民遺産です。



## 紙芝居「かるかやのせき 石童丸ものがたり」

市民遺産第9号 苺萱の関跡とかるかや物語 育成団体：かるかや物語を伝える会

坂本3丁目付近には、「苺萱の関」という関所があったと伝えられ、「関屋」という地名の由来となっています。この関所の関守であった<sup>かとうしげうじ</sup>加藤繁氏と、その息子の石童（堂）丸とのお話は、全国に知られ、博多の石堂子授け地蔵のほか、和歌山県の高野山や、長野県などにもゆかりの場所があります。



津屋崎在住の人形作家・岡村信子さんから贈られたかるかや物語の陶人形



この紙芝居は、育成団体のかるかや物語を伝える会が製作した太宰府にしかない紙芝居です。

市内在住のエッセイスト・高瀬美代子さんの文に、筑陽学園デザイン科の生徒さんが絵を描きました。

古代官人の衣装の色と万葉の花

市民遺産第5号 万葉集つくし歌壇 育成団体：大宰府万葉会

紫



紫は灰さすものぞ  
海石留市の八十のちまたに逢へる見や誰

韓人の衣装もどふ紫の

ここに染みて思ほゆるかも

大典麻田連陽春（四一五六九）

(一一一三二〇一)



ムラサキ



あかねさす紫野行き標野行き  
野守は見ずや 君が袖振る

額田王（一一二十）

緋

(茜)



アカネ

缥

(青)

緑子の若子か身には．．．（中略）  
われに遣せし水缥の絹の帯を．．．

竹取翁（一六一三七九一）



藍

浅緑染めかけたりと見るまでに  
春の柳は萌えにけるかも

(一〇一八四七)



緑

みどり



ヤナギ

1, 観世音寺をたずねて

作詞：村上寿浩  
作曲：岩崎記代子

まほろばの道に  
観世音寺をたずねました  
春の陽はいとしげに  
古刹のいらか 花の風  
しだれ桜は うつくしく  
御ほとけの影 よりそって  
私はたち止まって  
しばらく 夢でも  
みたのでしょうか  
聞こえてきたのは 鐘の音  
ゆめみたものは はるかなるもの

筑紫の国は  
観世音寺をたずねました  
秋の陽はひっそりと  
四王寺山は うららかに  
落ち葉しく 境内に  
御ほとけがいて 私がいて  
私はたち止まって  
遠い日のことなど  
想っていました  
聞こえてきたのは 鐘の音  
ゆめみたものは 天平のころ

2, 夢しのぶ

作詞：真はじめ  
作曲：岩崎記代子

天満宮の 仲見世通り  
松屋 松ヶ枝 月淡く  
国を憂いて 身をしのぶ  
僧月照と 志士たちが  
残せし筆蹟に 夢しのぶ  
言の葉の 花をあるじに旅ねする  
この松かげを 千代もわすれじ  
千歳語る 樟木立  
俱に天衝く 大鳥居  
とかく浮世の 恋うわさ  
九州男児 かくありと  
耐え立つ雄姿 空青し  
そよ吹く東風に 誘われる  
お石が茶屋の 軒に舞う  
人を愛して 愛されし  
面影映す 梅の花  
恋しや お石 春がゆく  
太宰府の お石の茶やに もちくえば  
旅の愁ひも いつかわすれお

3, 天神さまの12ヵ月

作詞：村上寿浩  
作曲：岩崎記代子

天神様の お正月  
ウソ替え鬼すべ 初詣  
太鼓橋には 人の波

天神様に 東風吹かば  
飛梅の歌 なつかしく  
白紅梅と 咲き満ちる

天神様の 梅の下  
曲水の宴 歌を詠む  
平安朝の 雅やか

天神様に お兄ちゃん  
試験合格 神頼み  
学生服の しおらしさ

天神様の 心字池  
朱(あけ)の楼門 楠若葉  
映す青空 眼にしみる

天神様の 花菖蒲  
菖蒲の池に 咲き競う  
紫の花 白い花

天神様の 夏祭り  
夏の健康 祈願して  
夜は幻想 千灯明

天神様の 御土産は  
木彫りのウソに 茶店みな  
梅ヶ枝餅と 呼んでいる

天神様の 御神幸  
王朝絵巻 筑紫路に  
秋を彩る 花車

天神様の 秋思祭  
詩歌の調べ 篝火に  
菅公偲ぶ 虫の声

天神様の 七五三  
菊花香りて 幼子の  
晴れ着姿の あいらしさ

天神様の おしまいは  
今年たまった すすはらい  
新年迎える 忙しさ

いっしょに  
歌いましょう



#### 4, 風は友達 —太宰府バージョン—

作詞：平山芳江  
作曲：岩崎記代子

- 1 遙かに連なる 水城の跡に  
歴史は語る 遠の朝廷と  
道真公の 悲運に泣けば  
鐘の余韻に 心静けさ  
風は友達 私の友達
- 2 悲願百年 胸張る誇り  
九州国立 博物館に  
途絶えぬ人波 合格絵馬と  
拍手打つ手に 飛梅香る  
風は友達 僕の友達
- 3 宰府の宮の 鳥居をくぐりて  
仲店通りの 賑い焼餅  
人垣えらんで お土産両の手  
家路を目指して 電車の窓辺  
風は友達 みんな友達



### 「水城村の地勢」と「時の記念日の歌」

市民遺産第6号 太宰府における時の記念日の行事 育成団体：辰山会

6月10日の「時の記念日の日」に、かつては水城小学校の児童たちが朝、決められた時間に時計を持たずに都府楼跡（大宰府政庁跡）に集合する「時の記念日の行事」がおこなわれていました。現在も、当時の卒業生や地元の人々が集まって行事を行っています。この2曲は、昔から行事でうたっていた歌です。

#### 「水城村の地勢」度量衡の歌

- 一 東は太宰府 西大野 北は粕屋の炭の郡すみのぐん  
南は山口 その横は 郡の中心二日市
- 二 面積十三方キロ余 人口三千三百余  
周囲は二十六キロで 三分の一は平野なり
- 三 八六八の宝満山 二五七の天拝山  
四王寺山は四一〇 春振の山は一〇五五点
- 四 川の流れば御笠川 池の数は四十と余  
灌漑用水縦横かんがいようすいじゅうおうじ  
沃野一望黄金波よくやいちほうごがねなみ
- 五 福岡までは二十分 汽車に電車に自動車に  
すべての道路は面新めんあらた  
文化の道を開くなり

#### 「時の記念日の歌」

- 一 時の流れの現生うつつよを  
図る器うつわはありながら  
弛ゆるたゆみがちなる我が心  
み教え胸むねにきざみなん
- 二 千幾年せんいくとせの辰山とぎやまに  
偲おもひのぶ帝みかどの水時計  
流れも清き 白川の  
弛ゆるまぬ心 心して

時の記念日の歌



水城村の地勢  
度量衡の歌



## ■太宰府市民遺産とは

市民が「未来の太宰府に伝えたい」と思う太宰府固有の物語と、関連する文化遺産、そして物語を伝える活動（育成活動）とを合わせて『太宰府市民遺産』といいます。

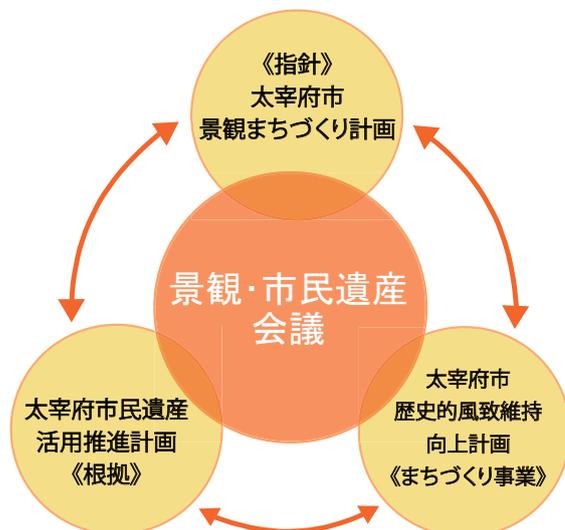
## ■太宰府の景観と市民遺産を守り育てる取り組み

市では、平成 22 年に「太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例」を設け、景観計画に基づく地域の良好な景観形成と、市民主体で地域のたからを守り伝える活動を行政・市民・事業者の三者協働で支えるしくみ「太宰府市民遺産」の取り組みを進めています。

「景観・市民遺産会議」は、市民・行政・事業者の三者で構成される協働組織で、会議に提案され、認定された太宰府市民遺産は、これまで 12 件になります。

## ■景観・市民遺産会議の構成メンバー

太宰府観光協会、太宰府市自治協議会、太宰府天満宮、商工会（観光・商業・工業）、有識者、太宰府市（都市整備部・教育部）、景観・市民遺産育成団体



## ■太宰府市民遺産認定に関する指標

太宰府市民遺産は、景観・市民遺産会議の納得をもって認定されます。納得のための目安として、以下の指標が設定されています。

- ①伝えたい太宰府固有の物語である
- ②物語が文化遺産で構成されている
- ③文化遺産を守り育てる活動である

■問い合わせ先 / 太宰府市景観・市民遺産会議事務局（太宰府市教育委員会文化財課）  
太宰府市都市整備部都市計画課  
〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目1番1号  
TEL 092-921-2121 内線 472（文化財課）・424（都市計画課）  
景観・市民遺産会議 HP <http://www.市民遺産.jp/>